

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

市民の移動実態について

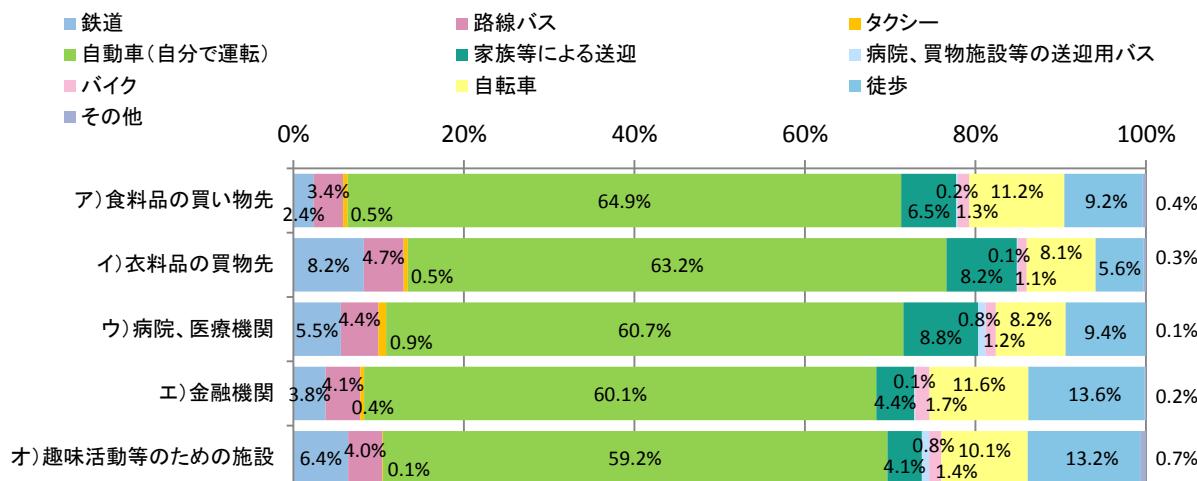
本市だけでなく、乗合バスの利用者は減少しています。本市にお住まいの方は買物などにどのような交通手段を利用しているのでしょうか？本市では、平成24年11月に市内3,000世帯を対象としたアンケート調査を行い、食料品の買物、衣料品の買物、病院・医療機関、金融機関などの移動に際し、どのような移動手段を利用されるのか、日常生活での目的別の利用交通手段をお聞きしました。

どの目的においても自動車での移動が一番多く、バスの移動は3.4%～4.7%となっています（アンケート結果は市HP「公共交通」からご覧いただけます。）。

自動車の移動は、自分の時間に合わせ、目的場所に直接行けるので大変便利です。でも、バスでの移動は、景色を楽しんだり、まちなかを歩いたり、人との触れ合いがあったりと、マイカー移動にはないことが、いろいろとあります。駐車場所を気にしたりすることもありません。また、多くの方がバスをはじめとする公共交通を使った移動をすることで、自動車の運行台数が減ることによる渋滞の解消、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの削減といった効果もあります。

そして、公共交通の利用に転換することで、利用者の増加＝公共交通の維持確保につながります。今は自分で運転することができているかもしれません、いつできなくなるかわかりません。その時に公共交通がなかったらどうなるでしょうか？将来のためにも、今、公共交通を利用する考えを考えていただければと思います。

日常生活における目的別の利用交通手段



彩京のびのびバスを販売しています。

国際興業バスでは、65歳以上の方が国際興業バス全線乗り放題となる彩京のびのびバスを9月16日（火）から販売しています。

彩京のびのびバスは、19,990円で平成26年10月1日から平成27年3月31日までの半年間、国際興業バスの全路線（※高速バス等一部の路線を除く）が乗り放題になる便利な定期券です。

1ヶ月あたりに換算すると約3,332円となり大変お得です。

お買い物・通院・お出かけにご利用ください。

なお、購入の際には、健康保険証、運転免許証、現在お使いの彩京のびのびバスのいずれか1点をご用意ください。

詳しくは、国際興業バス飯能営業所（973-1161）までお問い合わせください。

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

国際興業バス車内アナウンスに人気アニメ「ヤマノススメ」の声優が登場！

飯能市を舞台にした人気アニメ「ヤマノススメ」の“あおい”と“かえで”が国際興業バスの車内アナウンスに登場しました。アナウンスをするのは、飯能駅から「さわらびの湯」を経由する名栗方面のバス（飯01-2湯の沢、飯02-2名栗車庫、飯03-2名郷の3系統）です。

「さわらびの湯」方向は“あおい”が、「飯能駅」方向は“かえで”が車内マナーや車内事故防止などのメッセージを呼びかけます。

また、“あおい”と“かえで”からの呼びかけは、飯能駅～さわらびの湯間でのぼり、くだりそれぞれ4か所のバス停留所になります。

秋の名栗は「名栗湖国際野外美術展（10/18～11/30）」、「名栗ふるさとまつり（10/19）」、「なぐり紅葉まつり（11/16）」、「さわらびの湯秋まつり（11/23）」などイベントがたくさんあります。

“あおい”と“かえで”にどこで出会えるか？どんな呼びかけなのか？ワクワクしながら、名栗地区のイベントにバスでご来場ください。



左下：あおい
右上：かえで

「清流保全ポスター」を展示しています。

国際興業バス飯能営業所管内を運行している旧塗装復刻車（国際興業バスが誕生したときに採用されたカラーのバス）をご存知ですか？このバス車内で「きれいな川を守る」ことをテーマに、小中学生から応募いただいた【清流保全ポスター】を展示しています。

これまで、「森林フォトコンテスト作品」、「写真でたどる飯能市の60年（特別展）」と写真を展示してきました。絵の展示は初めての試みで、市内の小学生の23作品を12月7日（日）まで、展示する予定です。清流保全ポスターをご覧いただき、清流や自然環境の保全にご協力ください。

このバスは、土日祝日に限り、運行ダイヤを公開しています。運行ダイヤについては、国際興業バスホームページをご確認ください。

なお、運行の都合から平日は運行ダイヤの公開はしていません。ご了承ください。



作品を展示しているバスです。
(旧塗装復刻車)

さわらびの湯へ行こう！

名栗地区にある「さわらびの湯」では、“ヤマノススメ さわらびの湯限定手ぬぐい”が10月11日（土）から、入館料とセットで販売しています。

（入館料800円+手ぬぐい400円：それぞれ税込）

手ぬぐいはさわらびの湯オリジナルで限定です。問い合わせは、さわらびの湯まで。

バスで名栗へ、観光のあとは「あおい」たちも入浴した温泉へ！

“ラッピングバスに乗ってさわらびの湯へ行こう！”



※公共交通ニュースは地区行政センター及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市企画総務部企画調整課
総合政策・交通政策担当

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

もしもバスがなくなったら①

民間のバス事業者の7割、公営バスの9割が赤字経営となっており、ほとんどのバス路線は国、県、市の補助金や負担金により運行を維持しています。しかしながら、利用者の減少傾向は続き、また燃料費の高騰もあり、経営は大変厳しい状況となっています。このまま、利用者の減少が続くとバスの運行はできなくなるかもしれません。

もしも、バスがなくなったらどうなってしまうでしょうか？自分で自動車を運転できない方は、外出できなくなるかもしれません。学生は通学することができなくなるかもしれません。観光客も訪れることができなくなります。そうなると地域での生活を続けていくことができなくなり、他の地区や市外に転出してしまうかもしれません。地域の人が減っていくとコミュニティが形成できなくなり、地域でのお祭り、自治会活動、PTA活動などにも支障を来たしてしまうかもしれません。今の生活、地域での生活を続けていくためにも、バスは必要です。



もしもバスがなくなったら②

名栗方面までは、片道約1時間の運行時間を要します。1時間に1本の運行をするためには最低6台（上りバス2台、下りバス2台プラス道路の渋滞などで1時間以上の運行時間が掛かったときのための車両がそれぞれ1台）必要です。1時間に2本走らせるには、その倍の台数が最低必要です（故障や車検・点検、事故等への対応に予備車両も必要となります）。

収支が悪いことを理由に路線バスが廃止になった場合、収支の悪い路線を引き継ぐような事業者は現実いません。そうなると市で直接運行するしかないということになります。

市が現在と同じ条件（1時間に2本程度の運行）で直接運行するとなると、バス車両（12台プラス予備車両）、車庫用地、バスの乗務員が最低限必要となります。現在もバスが満杯の時間帯があるので、全ての車両ではなくても大型バスも必要となり、乗務員は大型2種免許保有者となります。大型2種免許保有者は現在、大変少なく、どのバス事業者も乗務員の確保が難しい状況となっています。

市が直接バスを運行する場合、バス車両や車庫用地は準備できても乗務員が確保できないということはあり得ることです。

乗務員が確保できないと、1時間に1本、又は数時間に1本しか運行できなくなり、今と同じ生活はできなくなるかもしれません。

（他社が引き継いだ場合でも、新たにバス車両を用意して、乗務員も確保することは必要となります。）



もしもバスがなくなったら③

本市は、これから本格的な超高齢社会に突入します。高齢者になり自ら運転することができなくなったら、移動はどうしますか？もしもバスがになると、復活することはまずありません。

本市を運行するバス会社も3社とも経営は大変厳しい状況とのことです。
バスを維持確保するためには、利用するしかありません。今だけでなく将来を見据えて、維持確保のため積極的にご利用ください。



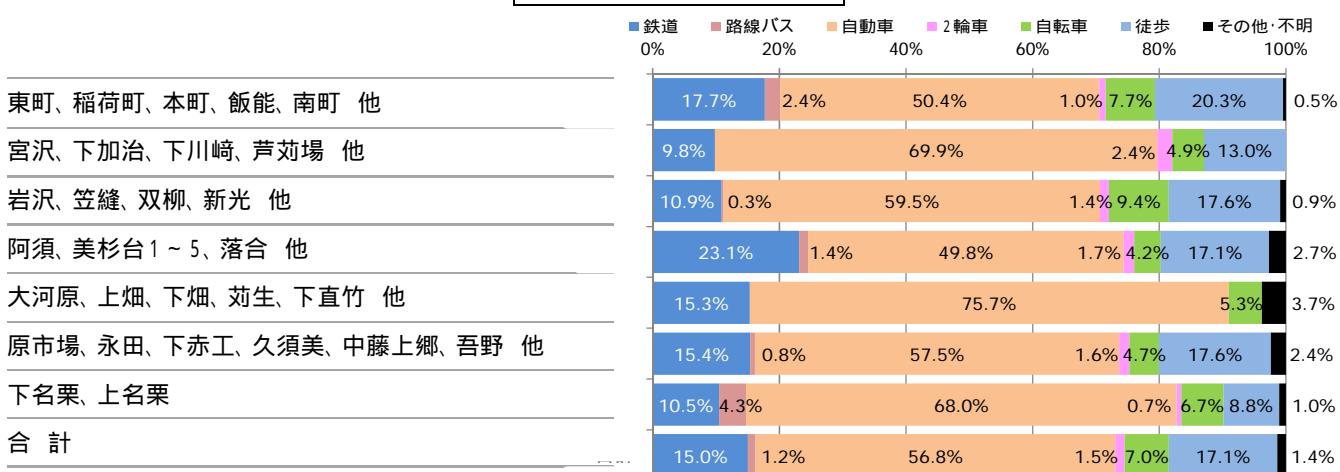
市民の移動実態

平成24年11月に市内3,000世帯を対象に実施したアンケート調査において、買物、通院、金融機関への移動の60%超が自動車利用で、バス利用は3.4～4.7%となっています。詳しくは「公共交通ニュースVol.21」をご覧ください。

平成20年に調査した東京都市圏パーソントリップ調査（東京都市圏交通計画協議会）の結果でも、自動車の利用率が最も高く、全地区合計で56.8%となっています。バスの利用率は、合計で1.2%、鉄道は15.0%であり、自動車依存率の高さが分かります。また、バスについては、鉄道路線のない名栗地区でも、鉄道10.5%に対し、バス4.3%となっており、「選ばれない」移動手段となっているようです。なお、下の図が市内を発着とする代表交通手段の構成比です。

代表交通手段：出発地から目的地まで主に、最も長く利用すると考えられる交通手段を表わす。

図 代表交通手段構成比



【東京都市圏パーソントリップ調査】（パーソン=人、トリップ=動き）

「どのような人が」「どのような目的で・交通手段で」「どこからどこへ」移動したかなどを調査するもの。

調査に基づき、鉄道や自動車、徒歩といった各交通手段の利用割合や交通量などを求めることができます。

調査対象区域は東京都市圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県南部）。

バスが選ばれない理由として、時間がかかる、運賃が高いなどが考えられますが、運行していないと困るのは地域の方々です。本市の路線バスは、通勤通学者を除くと、大部分が観光客や市外から通勤通学されている方の利用となっています。市外からの方は、退職や卒業を迎えると、ほとんどの方は利用しなくなると思います。しかし、飯能市に住んでいる方、沿線に住んでいる方は、退職や卒業をしても、バスを利用する機会はあります。家族が利用するかもしれません。

利用者の減少や乗務員不足により全国的にバス事業は厳しい状況で、人口減少社会の中、状況はますます厳しくなってくるものと考えられています。今、利用しないと将来運行している保障はありません。利用したいときにバスがなかったらどうしますか？

「あればいいね」ではなく、「あって良かった」のバス。交通手段の選択肢に「路線バス」を加え、そして、今だけでなく、将来のことを考え、選んでいただき、積極的に利用していただきますようお願いします。

市内乗合路線バスの状況

国際興業バス、西武バス、イーグルバスが飯能駅を起終点に運行しています。国際興業バスは、名栗・原市場、南高麗、双柳・新光、西武飯能日高団地、こまニュータウン、埼玉医大方面、西武バスは、美杉台団地、青梅市方面（飯能営業所管轄）、狭山市駅方面（狭山営業所管轄）、イーグルバスは日高市方面を運行しています。路線バス利用者の大部分は通勤通学者で、特に国際興業バスの双柳・新光方面やイーグルバスの利用者は市外の方による通勤通学利用が多くなっています。また、イーグルバスは、休日の宮沢湖温泉の利用者、国際興業バスの名栗方面は休日の登山・ハイキング客の利用が多いという状況です（名栗方面のバスは、休日ダイヤの方が平日よりも運行本数が多いのも特徴です。）。

路線バスは、沿線住民にとって必要な交通手段ですが、沿線住民の利用は大変少なく、市外の人々に頼っているのが本市のバス利用者の傾向です。少子高齢社会に突入していますが、少子高齢化は、直接、バス利用者数に影響があります。利用者が少なくなると路線は維持できなくなり、減便、廃線につながります。現在は、行政の財政支援により維持されている路線もありますが、利用者が少ないのであれば、業務の効率化から廃止という可能性もあり得ます（行政からの支援が欲しくて運行を継続しているのではなく、地域が必要だということから運行を継続している状況です。）。

そして、廃止を選択した場合、路線を引き継ぐ事業者がいれば、バスの運行は継続されますが、事業者がいなければ、そのまま廃止となってしまいます。現在、イーグルバスが運行している日高・飯能路線は、以前は西武バスが運行していた路線を引き継いで運行していますが、もしイーグルバスが廃止となってしまうと、この路線を引き継ぐ事業者を探すのは大変厳しいと考えます（観光バスや貸切バスだけの運行許可の事業者では、乗合の路線バスを運行することはできません。）。イーグルバスは沿線地域にとって唯一の公共交通です。沿線の方々を中心に積極的に利用し、地域の交通を守り、育ててください。

“なぐりひな飾り展”のお知らせ

今年も “なぐりひな飾り展” が2月17日（火）～3月8日（日）まで開催されています。昨年、一昨年と好評であった「名栗地区周遊券」は、今年度は販売しませんが、“なぐりひな飾り展”には、古民家柏木分家、古民家ひらぬまをはじめとして、喫茶&ギャラリーナ栗の杜、山雀亭（四海橋バス停）、café&galleryハミングの吊るし雛など見どころがたくさんあります。

路線バスの旅をしながらお雛様に出会い、旅の最後に「さわらびの湯」で身体を温め、ビールの1杯でもいかがでしょうか。



※公共交通ニュースは地区行政センター及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市企画総務部企画調整課
総合政策・交通政策担当

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

公共交通を利用しましょう

4月は入学や就職など新しい生活が始まる季節です。通勤や通学に電車やバスなどの公共交通をぜひご利用ください。マイカー通勤の方も通勤手段を公共交通に乗り換えてみませんか？また、普段のお出かけにも環境にやさしい公共交通を利用しましょう。

※PASMO、Suicaは、バスの利用では小銭不要、1,000円利用で100円のバスチケットが付くなど、便利でお得です。電車の乗換にも大変便利です。また、小学生には、「こどもパスモ」があります。ICカードをぜひ、ご利用ください。なお、イーグルバスは現金のみの利用となります。

国際興業バス “飯能ワンコインゾーン”をご利用ください

国際興業バスの大人100円、こども10円の「飯能ワンコインゾーン」は昨年5月16日から1年間の実証実験です。多くの方に、飯能駅～東飯能駅間の移動、市役所、飯能駅、飯能高校までの移動にご利用いただいております。

この「飯能ワンコインゾーン」はバスの利用者が増加するというだけでなく、多くの方にバスに乗っていただき、バスを知っていただくための機会づくりとしても大変良い取組です。本年5月16日以降も引き続き実施していただきたいと考えていますが、そのためには、多くの方に利用していただくことが重要となります。

この「飯能ワンコインゾーン」が継続されるよう、積極的に利用していただきますようお願いします。

【飯能ワンコインゾーン】

- 飯能駅 ⇄ 飯能河原の間の各バス停運賃
(湯の沢、名郷、名栗車庫、上赤沢、中藤・中沢、間野黒指、西武飯能日高の各系統)
- 飯能駅 ⇄ 飯能高校の間の各バス停運賃
(こまニュータウン・埼玉医大の各系統)
- 飯能駅 ⇄ 市役所前の間の各バス停運賃
(新光・市営住宅の各系統)

※小学生は降りる際に乗務員にお声掛けください。



◎名栗、原市場方面のバスでは、「ヤマノススメ」のあおいとかえでが車内アンダウントをしています。

国際興業バス “彩京のびのびバス” のお知らせ

国際興業バスでは、65歳以上の方が国際興業バス全線乗り放題となる彩京のびのびバスを3月16日（月）から販売しています。

彩京のびのびバスは、19,990円で平成27年4月1日から平成27年9月30日までの半年間、国際興業バスの全路線（※高速バス等一部の路線を除く）が乗り放題になる便利な定期券です。1か月あたりに換算すると約3,332円となり大変お得です。お買い物・通院・お出かけにご利用ください。なお、購入の際には、健康保険証、運転免許証、現在お使いの彩京のびのびバスのいずれか1点をご用意ください。

詳しくは、国際興業バス飯能営業所（973-1161）までお問い合わせください。

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

飯能駅が開業100周年となりました

飯能駅が去る4月15日に開業100周年を迎えました。大正4(1915)年4月15日、武蔵野鉄道(現在の西武池袋線)が池袋と飯能の間を開通したことから、飯能駅の歴史がスタートしました。飯能駅開業当時の駅は、池袋、東長崎、練馬、石神井公園、保谷、東久留米、所沢、西所沢、狭山ヶ丘、入間市、仏子、飯能の各駅とのこと。4月12日(日)に開催された「飯能駅開業100周年記念セレモニー」では、この12駅の懐かしい写真が展示されました。

飯能駅の開業とともに、飯能のまちは産業が発展し、人口も増えました。そして、飯能駅から吾野方面、秩父方面に鉄道が延伸されていくなど、飯能駅は本市の発展に欠かせない役割を担ってきました。また、駅と地域を結ぶための移動手段として、路線バスが運行されました。本市の路線バスは、飯能駅を起点に各地域を運行しており、バスがなければ、外出や中心市街地に出かけることもできなかつたことだと思います。

鉄道は、市民、観光者への移動手段として、そして、本市の今後の更なる発展のためにも欠かせない大切な地域資源です。引き続き市民の皆様のご利用をよろしくお願いします。

飯能駅では現在、「飯能駅のおもいで」写真展を開催しています。ぜひご覧ください。また、飯能市郷土館では、10月11日(日)から12月13日(日)にかけて旧武蔵野鉄道開通百周年を記念した特別展を計画しています

大正4年4月18日
武蔵野鉄道開通式
の写真



4月12日の開業
100周年セレモニー
でのレイルくん、
スマイルちゃん、
夢馬くんのお出迎え
の様子

5月3日(日)はお散歩マーケットです

山間の集落にある黒指・細田地区で、家々の軒先に山菜や季節の農作物や手づくり品が並ぶ「春のお散歩マーケット」が5月3日(日)(時間:9時~16時)に開催されます。春の日差しがあふれる山あいの景色の中、お買い物やおしゃべりで地元の人とのふれあいをお楽しみください。なお、会場には駐車場がありませんのでお車でのご来場はできません。

里山の雰囲気を満喫できる国際興業バスをご利用ください。

特に、この地域を運行している「間野黒指線」の利用者は少なく、この「お散歩マーケット」は路線の維持確保に大きな役割を果たしています。会場までは、飯能駅北口1番乗り場 国際興業バス「間野黒指行き」に乗車いただき、終点「間野黒指」で下車してください。当日は、多くの方を会場までお運びするために、臨時バスも運行します。安心して、飯能駅までお越しください。

なお、臨時バスの時刻については、国際興業バスホームページをご確認ください。

公共交通ニュース vol. 28 2015. 5. 20

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

国際興業バス “飯能ワンコインゾーン” を引き続き実施しています

国際興業バス “飯能ワンコインゾーン”をご存知ですか？飯能駅 ⇄ 飯能河原間、飯能駅 ⇄ 市役所間、飯能駅 ⇄ 飯能高校間が大人100円、こども（小学生）10円で利用できるお得な運賃制度です。この“飯能ワンコインゾーン”は昨年の5月15日から1年間の期限で実施していましたが、多くの方にバスを知っていただき、利用していただき、そして移動手段としてバスを選んでいただくため、期限を1年間延長し、引き続き実施しています。大人運賃100円という制度は他市や他の事業者で実施していますが、こども（小学生）10円というのは他にはない、画期的な取組です。多くの方々が“飯能ワンコインゾーン”を利用していただくことが、継続につながります。また、ワンコインゾーン拡大の要望もありますが、そのためにはまず、多くの方がバスを利用していただくことが大変重要なこととなります。



中心市街地の散策に、市役所まで、飯能中央地区行政センターまで、飯能駅～東飯能駅の移動、飯能高校までの通学にぜひ、国際興業バスをご利用ください。飲酒の機会、悪天候のときなども大変便利です。

また、小学生は塾に通うときにご利用ください。なお、こども運賃をICカードで支払うときは、カードリーダーにタッチする前に運転手へひと声掛けてください。

「ヤマノススメ」
バスもまだまだ運行しています

「飯能市バスルートマップ」を作成しました

飯能市は、国際興業バス、西武バス、イーグルバスの3社のバス事業者が飯能駅を起点に市内各地区、日高市、狭山市、青梅市などに運行しています（1つの市で3社の路線バスが運行していることは、他市ではあまりない、本市の特徴です。）。どのバスに乗れば目的地に行けるのか？運賃はどのように支払うのか？どこから乗車すればいいのか？ICカードは使えるのか？などバスに乗りなれない人にとって、バスはわからないことだらけではないでしょうか？



多くの方にバスを知っていただき、バスを利用していただき、また、飯能市を楽しんでいただくため、3社のバス路線網をまとめた「飯能市バスルートマップ」を作成しました。

このバスルートマップは3社のバス路線網・バス停留所のほか、飯能駅、東飯能駅のりば案内、バスの乗り方・降り方、運賃の支払い方法、主な公共・公的施設、観光施設、宿泊施設の最寄バス停や最寄駅、主な観光スポット、ヤマノススメの舞台紹介、各バス事業者の連絡先など様々な情報が掲載されています。

市役所や各地区行政センター、飯能駅観光案内所「ふらっと飯能」、市立図書館などの公共施設等で配布しているほか、飯能市のホームページからもご覧いただけます。

バスルートマップを片手に路線バスをご利用ください。

※公共交通ニュースは地区行政センター
及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市企画総務部企画調整課
総合政策担当

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

“バスで行く”名栗地区イベント情報

7月4日（土）、5日（日）に名栗地区でイベントが開催されます。
国際興業バスに乗り、車窓からの飯能の風景を楽しみながら、名栗まで、バスの小旅行をしてみませんか？



○名栗ホタル観賞の集い：7月4日（土）午後7時～午後9時 ※雨天決行

場所：お休み処やませみ周辺

（飯能駅から国際興業バスで40分「さわらびの湯」又は「河又名栗湖入口」バス停下車）
名栗の夏の風物詩のひとつになりました「名栗ホタル観賞の集い」がお休み処「やませみ」周辺で開催されます（主催：飯能市観光協会・なぐり観光の会）。



ホタル舞う風景を、また、ホタル早わかりブースやあそびブース、飲食ブースなどを楽しみいただけます。ヤマノススメグッズも販売します。

►会場まで（飯能駅北口2番のりば ※下線は「さわらびの湯」経由）

15:45、16:15、16:45、17:15、17:43、18:05、18:37

►飯能駅方面（河又名栗湖入口バス停発※下線は「さわらびの湯」発）
19:30、20:19、21:00（臨時便）

なお、国際興業バスを利用してご来場されたお客様に「名栗ホタル観賞の集い」限定「ヤマノススメプラスチックカード」を差し上げます。（先着200名）

※名栗地区ホタル観賞期間：6月中旬～7月中旬

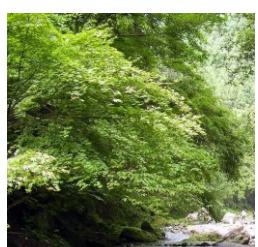


* プラスチックカード図

○名郷味市（なごみいち）7月5日（日）午前9時～午後2時 場所：ふるさと会館

（飯能駅から国際興業バスで約55分「名郷」バス停下車 徒歩2分）

地元の皆さんによる模擬店、名栗の歴史を紹介、東北応援マーケット、街なか出張商店など盛りだくさんのイベントです（主催：名郷味市実行委員会）。



►会場まで（飯能駅北口2番のりば→名郷）

8:00、8:30、8:55、9:20、9:54、10:48、11:45、12:45

►飯能駅方面（名郷発）

10:02、10:34、11:08、12:03、13:03、14:03、15:03

○第12回なぐりの里ウオーク：7月5日（日）午前9時30分 さわらびの湯第3駐車場集合

（飯能駅から国際興業バスで約40分「さわらびの湯」バス停下車）

さわらびの湯を出発して、ふるさと会館までの7.2km、約2時間のウオーキングイベントです。なぐりの里ウオークのゴール地点が「名郷味市（なごみいち）」会場です。

参加希望者は名栗公民館（TEL 042-979-1522）まで
お申し込みください（6/30締切）。



►集合場所まで（飯能駅北口2番のりば→さわらびの湯）

7:40発→8:21着 8:00発→8:41着 8:30発→9:11着

イーグルバスについて

飯能市は、国際興業バス、西武バス、イーグルバスの3社が飯能駅を起点に運行しています。国際興業バスは、原市場・名栗方面、南高麗方面、双柳方面、西武飯能日高団地方面、埼玉医大方面などを運行しています。西武バスは、美杉台方面、青梅方面、狭山市駅方面を運行しています。そして、イーグルバスは、中山方面、宮沢湖方面、高萩駅・ひだか団地方面を運行しており、鉄道駅のない地域にとってはこれらの路線バスが重要な公共交通となっています。

イーグルバスは、送迎バスや貸切バスを主にバス事業を展開していましたが、2003年から路線バス事業に進出し、飯能市内の路線は、2006年に西武バスから路線を受け継ぎました。イーグル



バスの社長は、テレビにも多数出演し、路線バス維持確保のための取組を紹介しています。川越市内では、乗務員が車内で観光案内をしたり、観光者向けのポンネットバスの運行をしています。また、バス車内にセンサーを設置し、バスの運行状況やバス乗客数、利用者のニーズなどを把握するバスの「見える化」を図っています。市内を運行している日高飯能路線についてもこの「見える化」により、運行ダイヤの見直しや靖和病院や宮沢湖温泉喜楽里別邸にバス停を設置するなどの改善を行い、乗客数も伸ばしています。しかしながら、元々は西武バスが手放した路線であり、利用者は限られた路線であったことから、様々な取組をして以前よりは乗客が増えていますが、路線を維持確保していくには、大変厳しい状況となっています。現在の主な利用者は飯能駅を利用する市外からの通勤・通学者や飯能駅から宮沢湖の温泉に行く方など、市外からの利用者が大部分を占めています。市民にとって、また地域にとって重要な移動手段となる路線バス。もし、イーグルバスがこの路線を維持できなくなったら、これまでの経緯から受け継いでいただける事業者はないかもしれません。いつまでもイーグルバスが運行する地域になるよう通勤や通学、買物、宮沢湖の温泉にぜひご利用ください。バスで温泉に行けば、湯上りのビールも楽しめます。

名栗地区バス停留所名の由来について

バス停留所の名称は、「さわらびの湯」といった周辺施設、「工場前」といった周辺の環境、「仲町」などの地区名称などが一般的ですが、名栗地区の国際興業バス路線には変わったバス停名がたくさんあります。

シリーズで名栗地区のバス停名の由来を紹介します。景色を見て季節を感じ、そしてバス停名の由来を思い出しながらバスの旅をお楽しみください。

- 小沢(こさわ)…峠から流れ出した小さな沢の水が、この地域で入間川に入ります。入間川に入り込む「小さな沢」が由来です。
- 市場(いちば)…この地の対岸には昔「根小屋城」というお城がありました。このお城の周辺には「市場」が開かれたとのことです。
- 峯(みね)…山の頂(いただき)が目の前に続く地を「峯」といいます。この場所は古くから山の頂の見える場所です。
- 四海橋(しかいばし)…名栗地区の第四区と浅海戸地区を結ぶ橋で、「四」と「海」を渡らして「四海橋」と名付けられ、バス停名にもなっています。